

令和元年度

事業報告書

特定非営利活動法人 ニンジン

1 事業の成果

これまで当法人ではモンゴルおよびタイに関連し国内外で様々な活動を行って来たが、組織体制の変更に伴い今年度は、モンゴル関連のみとなった。2016年9月にスタートしたJICA草の根技術協力事業「モンゴルにおける障害児療育・教育支援及び療育関係者育成事業」が2019年8月に終了し、12月にJICA東京にて終了報告会を行った。JICAに提出した事業報告書とは別に、この3年間の活動を詳細にまとめたものをモンゴル語に翻訳し、これをモンゴル国内での療育活動の参考にしてもらうこととした。草の根手帳は、JICA事業期間内に完成を予定していたが、専門家の指導を翻訳し、手帳に書き込む作業が遅れ、今期漸く終了した。草の根事業で支援した2地区の療育センター（ゲゲーレンとサインナイズ）では引き続き療育活動を継続している。この活動を維持継続するため当法人として引き続き支援を行った。また、二つのセンターにトイレとシャワーを設置するためにクラウドファンディング「モンゴルの障がい児センターにきれいな水とトイレを！」は11月に工事が完成し現地に引き渡された。

年が明け2020年2月から世界的に新型コロナウイルス感染が拡大し、我が国およびモンゴル国も出入国が禁止となり、外出自粛、各種イベント等の中止を余儀なくされ、当法人の活動も大きく制限された。まず、ゴールデンウィーク前後に予定していたモンゴルへの専門家派遣が中止となり、更に8月に予定していた交流ツアーも中止となった。一方、報告会を兼ねたチャリティーコンサートは、感染予防のため無観客でオンライン・ライブコンサートとして実施した。同時に行った報告会ではモンゴルの現地とオンラインで繋ぐことで、昨年完成した障がい児用トイレを見学し、現地リーダー達の声も直接聞くことが出来た。昨年モンゴル・ウランバートル市に建設された国立障がい児リハビリテーション開発センターは、モンゴル国の障がい児を本格的に療育するセンターとして運用が開始された。しかし、人材不足や経験不足から課題が多く、現場からの要請を受け当法人としても支援することとし、手始めにオンラインによる障がい児療育の講義が始まった。

11月から事務所が武蔵野市に移転をした。事務局では担当者が都合で退任したため、事務力が低下したが、新型コロナウイルス感染拡大のため多くの活動が中止となり、また会議をオンラインで行うなど事務量は比較的少なく対処ができた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 】千円)

事業名	内 容	実 施 日 時	実 施 場 所	従事者 の人数	受益対象者の 範囲及び人数	支出額 (千円)
1. アジア諸国等海外の障がい児・者に対する療育等支援事業						
(1) モンゴル障がい児療育支援事業						
(ア) JICA 草の根技術協力事業継続事業						
ア. 専門家派遣	中止					
イ. 現地での日常活動	現地補助員が2か所の障がい児センターを訪問して活動（読み聞かせや、給与・交通費の支払い等）	10月1日 ～ 9月30日	モンゴル国、ウランバートル市	8人	障がい児医療従事者：約60人 障がい児・者と家族：約100人	313
ウ. 国内での活動	Facebookによる連携、教材開発他					
(イ) 国立障がい児リハビリテーション開発センター支援事業						
ア. 専門家講義	ZOOM会議による講義					
イ. 現地での日常活動	なし	8月1日～ 9月30日	モンゴル国、ウランバートル市	8人	障がい児医療従事者：約30人	10
ウ. 国内での活動	Facebookによる連携、教材開発他					
(2) その他のモンゴル障がい児療育支援事業						
ア. 専門家の訪問	中止	4月～5月（予定）	モンゴル国、ウランバートル市	0人	障がい児・者と家族：0人	0
イ. クラウドファンディング	現地工事の進行チェック完成確認	10月1日 ～ 9月30日	モンゴル国、ウランバートル市	6人	障がい児医療従事者：約60人 障がい児・者と家族：約100人	75

イ. 車いす支援	渡航中止のため支援できず 国内不要車いすを倉庫に保管	10月 ～9月	杉並区、ウラン バートル市、	1人	モンゴル国の 障がい児・者と家 族：0人	0
ウ. 活動報告会	事業の報告会を開催し、あわ せてモンゴル音楽を聴いた。 無観客オンラインで実施。	6月14日	東京都新宿区	10人	一般市民：多数	244
エ. 支援事業の 運営	上記事業および交流ツアー などを含めモンゴル関係者 との連絡・調整を行った。	年間	ウランバート ル市、東京都武 蔵野市	4人	障がい児・者と家 族：約100人	0

2. 海外の障がい児・者等との交流事業

(1)モンゴルへの研修・交流ツアーの企画実施

ア. モンゴル交 流ツアー	中止	8月（予 定）	モンゴル国	0人		0
------------------	----	------------	-------	----	--	---

3. 啓発事業

(1)セミナー等の 開催	実施なし					0
-----------------	------	--	--	--	--	---

4. 文化交流事業

	モンゴル支援事業報告会を もってあてた。					0
--	-------------------------	--	--	--	--	---

5. 情報提供事業

	HP、ブログ等の発行により 情報を発信。	随時	法人事務所	2人	一般市民： 不特定多数	10
--	-------------------------	----	-------	----	----------------	----